

明治期以降

- ▲ 財閥が経営した主要な鉱山
- ▲ 財閥が経営した主要な炭田・炭鉱

大正～昭和初期

- 新興コンツェルンの最初の主要拠点

昭和30～40年代

- 昭和40年代までにエチレン生産を開始した石油化学コンビナート等

イタイイタイ病



▲富山地裁での患者側勝訴を萩野医師から知らされ思わず合掌する入院患者たち



新潟水俣病

▼有機水銀が排出されたアセトアルデヒド製造プラント



(出典「鹿瀬工場タイムス」)

石狩炭田
(三井・三菱・住友)

美唄・夕張

釧路炭田
(三井・三菱)

尾去沢鉱山
(三菱財閥)

阿仁鉱山
(古河財閥)

院内鉱山
(古河財閥)

佐渡鉱山
(三菱財閥)

日本曹達(株)工場
(日曹コンツェルン)

神岡鉱山
(三井財閥)

水島(株)工場
(三井化学(株)など)

大阪(株)工場
(三井化学(株)など)

生野銀山
(三菱財閥)

徳山(株)工場
(出光興産(株)など)

筑豊炭田
(三井・三菱・住友・古河)

高島・端島炭鉱
(三菱財閥)

三池炭鉱
(三井財閥)

日本窒素肥料(株)工場
(日窒コンツェルン)

新居浜(株)工場
(住友化学工業(株)など)

別子銅山
(住友財閥)

大分(株)工場
(昭和電工(株))

久根鉱山
(古河財閥)

川崎(株)工場
(日本石油化学(株)など)

千葉(株)工場
(丸善石油化学(株)など)

鹿島(株)工場
(三菱油化(株)など)

日立鉱山
(久原財閥・日産コンツェルン)

日本鉱業(株)
(日産コンツェルン)

(財)理化学研究所
(理研コンツェルン)

四日市(株)工場
(三菱油化(株)など)

新居浜(株)工場
(住友化学工業(株)など)

別子銅山
(住友財閥)

大分(株)工場
(昭和電工(株))

石狩炭田
(三井・三菱・住友)

美唄・夕張

釧路炭田
(三井・三菱)

尾去沢鉱山
(三菱財閥)

阿仁鉱山
(古河財閥)

院内鉱山
(古河財閥)

佐渡鉱山
(三菱財閥)

日本曹達(株)工場
(日曹コンツェルン)

神岡鉱山
(三井財閥)

水島(株)工場
(三井化学(株)など)

大阪(株)工場
(三井化学(株)など)

生野銀山
(三菱財閥)

徳山(株)工場
(出光興産(株)など)

筑豊炭田
(三井・三菱・住友・古河)

高島・端島炭鉱
(三菱財閥)

三池炭鉱
(三井財閥)

日本窒素肥料(株)工場
(日窒コンツェルン)

新居浜(株)工場
(住友化学工業(株)など)

別子銅山
(住友財閥)

大分(株)工場
(昭和電工(株))

久根鉱山
(古河財閥)

川崎(株)工場
(日本石油化学(株)など)

千葉(株)工場
(丸善石油化学(株)など)

鹿島(株)工場
(三菱油化(株)など)

日立鉱山
(久原財閥・日産コンツェルン)

日本鉱業(株)
(日産コンツェルン)

(財)理化学研究所
(理研コンツェルン)

四日市(株)工場
(三菱油化(株)など)

新居浜(株)工場
(住友化学工業(株)など)

別子銅山
(住友財閥)

大分(株)工場
(昭和電工(株))

石狩炭田
(三井・三菱・住友)

美唄・夕張

釧路炭田
(三井・三菱)

尾去沢鉱山
(三菱財閥)

阿仁鉱山
(古河財閥)

院内鉱山
(古河財閥)

佐渡鉱山
(三菱財閥)

日本曹達(株)工場
(日曹コンツェルン)

神岡鉱山
(三井財閥)

水島(株)工場
(三井化学(株)など)

大阪(株)工場
(三井化学(株)など)

生野銀山
(三菱財閥)

徳山(株)工場
(出光興産(株)など)

筑豊炭田
(三井・三菱・住友・古河)

高島・端島炭鉱
(三菱財閥)

三池炭鉱
(三井財閥)

日本窒素肥料(株)工場
(日窒コンツェルン)

新居浜(株)工場
(住友化学工業(株)など)

別子銅山
(住友財閥)

大分(株)工場
(昭和電工(株))

久根鉱山
(古河財閥)

川崎(株)工場
(日本石油化学(株)など)

千葉(株)工場
(丸善石油化学(株)など)

鹿島(株)工場
(三菱油化(株)など)

日立鉱山
(久原財閥・日産コンツェルン)

日本鉱業(株)
(日産コンツェルン)

(財)理化学研究所
(理研コンツェルン)

四日市(株)工場
(三菱油化(株)など)

新居浜(株)工場
(住友化学工業(株)など)

別子銅山
(住友財閥)

大分(株)工場
(昭和電工(株))

石狩炭田
(三井・三菱・住友)

美唄・夕張

釧路炭田
(三井・三菱)

尾去沢鉱山
(三菱財閥)

阿仁鉱山
(古河財閥)

院内鉱山
(古河財閥)

佐渡鉱山
(三菱財閥)

日本曹達(株)工場
(日曹コンツェルン)

神岡鉱山
(三井財閥)

水島(株)工場
(三井化学(株)など)

大阪(株)工場
(三井化学(株)など)

生野銀山
(三菱財閥)

徳山(株)工場
(出光興産(株)など)

筑豊炭田
(三井・三菱・住友・古河)

高島・端島炭鉱
(三菱財閥)

三池炭鉱
(三井財閥)

日本窒素肥料(株)工場
(日窒コンツェルン)

新居浜(株)工場
(住友化学工業(株)など)

別子銅山
(住友財閥)

大分(株)工場
(昭和電工(株))

久根鉱山
(古河財閥)

川崎(株)工場
(日本石油化学(株)など)

千葉(株)工場
(丸善石油化学(株)など)

鹿島(株)工場
(三菱油化(株)など)

日立鉱山
(久原財閥・日産コンツェルン)

日本鉱業(株)
(日産コンツェルン)

(財)理化学研究所
(理研コンツェルン)

四日市(株)工場
(三菱油化(株)など)

新居浜(株)工場
(住友化学工業(株)など)

別子銅山
(住友財閥)

大分(株)工場
(昭和電工(株))

石狩炭田
(三井・三菱・住友)

美唄・夕張

釧路炭田
(三井・三菱)

尾去沢鉱山
(三菱財閥)

阿仁鉱山
(古河財閥)

院内鉱山
(古河財閥)

佐渡鉱山
(三菱財閥)

日本曹達(株)工場
(日曹コンツェルン)

神岡鉱山
(三井財閥)

水島(株)工場
(三井化学(株)など)

大阪(株)工場
(三井化学(株)など)

生野銀山
(三菱財閥)

徳山(株)工場
(出光興産(株)など)

筑豊炭田
(三井・三菱・住友・古河)

高島・端島炭鉱
(三菱財閥)

三池炭鉱
(三井財閥)

日本窒素肥料(株)工場
(日窒コンツェルン)

新居浜(株)工場
(住友化学工業(株)など)

別子銅山
(住友財閥)

大分(株)工場
(昭和電工(株))

久根鉱山
(古河財閥)

川崎(株)工場
(日本石油化学(株)など)

千葉(株)工場
(丸善石油化学(株)など)

鹿島(株)工場
(三菱油化(株)など)

日立鉱山
(久原財閥・日産コンツェルン)

日本鉱業(株)
(日産コンツェルン)

(財)理化学研究所
(理研コンツェルン)

四日市(株)工場
(三菱油化(株)など)

新居浜(株)工場
(住友化学工業(株)など)

別子銅山
(住友財閥)

大分(株)工場
(昭和電工(株))

石狩炭田
(三井・三菱・住友)

美唄・夕張

釧路炭田
(三井・三菱)

尾去沢鉱山
(三菱財閥)

阿仁鉱山
(古河財閥)

院内鉱山
(古河財閥)

佐渡鉱山
(三菱財閥)

日本曹達(株)工場
(日曹コンツェルン)

神岡鉱山
(三井財閥)

水島(株)工場
(三井化学(株)など)

大阪(株)工場
(三井化学(株)など)

生野銀山
(三菱財閥)

徳山(株)工場
(出光興産(株)など)

筑豊炭田
(三井・三菱・住友・古河)

高島・端島炭鉱
(三菱財閥)

三池炭鉱
(三井財閥)

日本窒素肥料(株)工場
(日窒コンツェルン)

新居浜(株)工場
(住友化学工業(株)など)

別子銅山
(住友財閥)

大分(株)工場
(昭和電工(株))

久根鉱山
(古河財閥)

川崎(株)工場
(日本石油化学(株)など)

千葉(株)工場
(丸善石油化学(株)など)

鹿島(株)工場
(三菱油化(株)など)

日立鉱山
(久原財閥・日産コンツェルン)

日本鉱業(株)
(日産コンツェルン)

(財)理化学研究所
(理研コンツェルン)

四日市(株)工場
(三菱油化(株)など)

新居浜(株)工場
(住友化学工業(株)など)

別子銅山
(住友財閥)

大分(株)工場
(昭和電工(株))

石狩炭田
(三井・三菱・住友)

美唄・夕張

釧路炭田
(三井・三菱)

尾去沢鉱山
(三菱財閥)

阿仁鉱山
(古河財閥)

院内鉱山
(古河財閥)

佐渡鉱山
(三菱財閥)

日本曹達(株)工場
(日曹コンツェルン)

神岡鉱山
(三井財閥)

水島(株)工場
(三井化学(株)など)

大阪(株)工場
(三井化学(株)など)

生野銀山
(三菱財閥)

徳山(株)工場
(出光興産(株)など)

筑豊炭田
(三井・三菱・住友・古河)

高島・端島炭鉱
(三菱財閥)

三池炭鉱
(三井財閥)

日本窒素肥料(株)工場
(日窒コンツェルン)

新居浜(株)工場
(住友化学工業(株)など)

別子銅山
(住友財閥)

大分(株)工場
(昭和電工(株))

久根鉱山
(古河財閥)

川崎(株)工場
(日本石油化学(株)など)

千葉(株)工場
(丸善石油化学(株)など)

鹿島(株)工場
(三菱油化(株)など)

日立鉱山
(久原財閥・日産コンツェルン)

日本鉱業(株)
(日産コンツェルン)

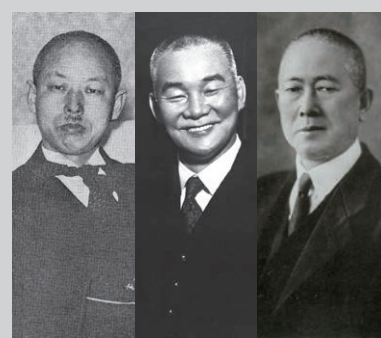
(財)理化学研究所
(理研コンツェルン)

四日市(株

大正期〜昭和初期

新興コンツェルンの台頭

明治期の財閥は経営を多角化した。化学分野には出遅れていた。その間隙を突いて、多数の新興企業が明治末期から大正期にかけて、肥料や薬・食品などの化学産業に進出する中から、巨大化した「新興コンツェルン」が昭和初期に台頭します。とりわけ、「日室(チッソ)コンツェルン」の野口遵氏、「森(昭和電工)コンツェルン」の森嶋和氏、「日産コンツェルン」の鮎川義介氏は「財界新人三羽鳥」と称され活躍しました。



▲ 財界新人三羽鳥(右から野口・森・鮎川)
(右から、出典「日本窒素肥料事業大観」〔日本窒素肥料社〕、「昭和電工五十年史」〔昭和電工〕、「日産コンツェルン讀本」〔和田日出吉著・春秋社〕)

新興コンツェルンによる化学産業を牽引したのは日室コンツェルンで、水力発電ダムから化学工場へ電気を供給して、まずは化学肥料の製造からスタートし、やがて有機化学分野へと進

出します。森(昭和電工)コンツェルンもそれを追いかけますが、両社とも戦後に肥料部門の不振から、石油化学が確立するまでのつなぎ役として有機化学部門の増産に拍車をかけ、水俣病の発生へと至つてしまいました。

昭和30年代

戦後の石油化学への転換

戦後、旧財閥系企業群は、出遅れていた化学分野への本格的な進出を企図します。

折しも、昭和20年代後半の日本では、石油を基盤とした産業構造への転換が模索され、石油化学施設を備えていた陸海軍の各燃料廠跡をめぐり、争奪戦が繰り広げられていました。結果的に、これらの施設は旧財閥系に有利に差配され、続々と石油化学コンビナートが建設されました。



▲ 旧三菱系の企業群が中心となって進出した四日市の第一コンビナート
(出典「四日市市史」〔四日市市〕)

しかし、四日市の第二海軍燃料廠跡に建設された、旧三菱系企業群を主とする石油化学コンビナートが大気汚染を深刻化させ、四日市ぜんそくの発生へとつながっていました。

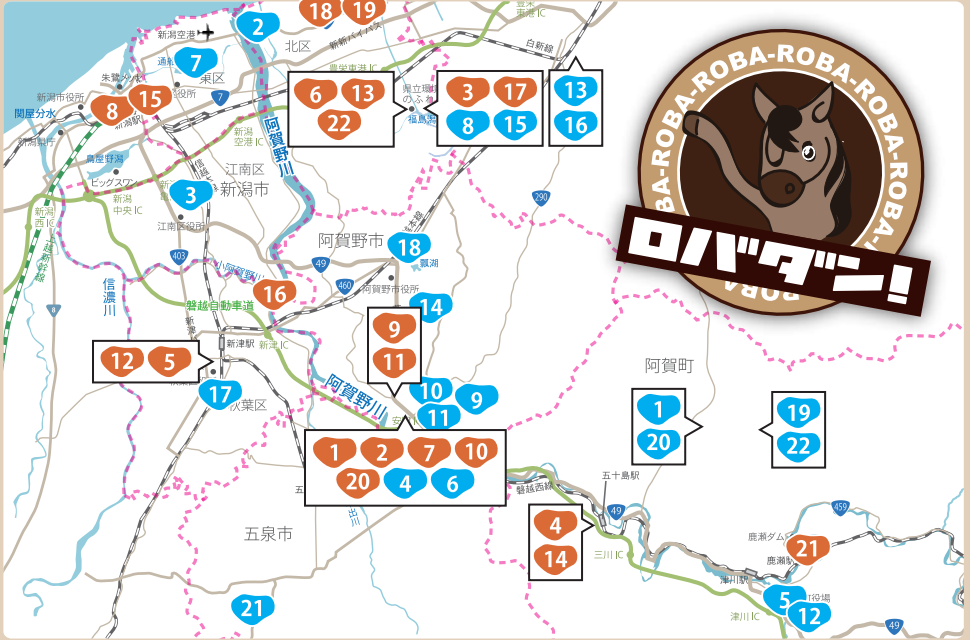
阿賀野川流域では…

鉱山や電気化学への進出

最後に、阿賀流域における、近代産業の光と影の痕跡を確認します。まず筆頭は、古河財閥の礎を築いた古河市兵衛氏が最初に手がけた草倉銅山で、一時は全国第2位の産銅量を誇り、草倉の利益が足尾銅山の初期の開発をも支えました。

その後、昭和初期に、新興コンツェルンも阿賀流域への進出を図ります。まず、森嶋和氏が建設責任者を担った鹿瀬ダムが完成し、その電力の供給先として、化学肥料を製造する鹿瀬工場が建設されました。

一方、鮎川義介氏率いる日産コンツェルンの中核企業だった日本鉱業(株)(現JXTGホールディングス)も、かつて大谷金山と呼ばれていた三川鉱山の経営に乗り出し、昭和30年代まで操業が続けられました。



- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 1 資料整備ロバダン 1 | 12 資料整備ロバダン 5 | 1 流域鉱山ロバダン 1 | 12 産業体験ロバダン 4 |
| 2 資料整備ロバダン 2 | 13 次世代伝承ロバダン 3 | 2 流域スポットロバダン 1 | 13 流域水利用ロバダン 1 |
| 3 流域歴史ロバダン 1 | 14 次世代伝承ロバダン 4 | 3 流域食材ロバダン 1 | 14 産業体験ロバダン 5 |
| 4 被害者交流ロバダン 1 | 15 被害者交流ロバダン 2 | 4 流域鉱山ロバダン 2 | 15 流域歴史ロバダン |
| 5 資料整備ロバダン 3 | 16 阿賀野川川業ロバダン | 5 環境ツアーロバダン | 16 流域水利用ロバダン 2 |
| 6 次世代伝承ロバダン 1 | 17 流域歴史ロバダン 2 | 6 流域鉱山ロバダン 3 | 17 流域水利用ロバダン 3 |
| 7 資料整備ロバダン 4 | 18 環境ツアーロバダン 3 | 7 流域スポットロバダン 2 | 18 流域水利用ロバダン 4 |
| 8 次世代伝承ロバダン 2 | 19 環境ツアーロバダン 4 | 8 流域スポットロバダン 3 | 19 流域鉱山ロバダン 4 |
| 9 環境ツアーロバダン 1 | 20 資料整備ロバダン 6 | 9 産業体験ロバダン 1 | 20 流域鉱山ロバダン 5 |
| 10 鹿瀬昔語りロバダン | 21 CSR 研修ロバダン | 10 産業体験ロバダン 2 | 21 流域食材ロバダン 2 |
| 11 環境ツアーロバダン 2 | 22 次世代伝承ロバダン 5 | 11 産業体験ロバダン 3 | 22 流域鉱山ロバダン 6 |

令和元年度 阿賀野川流域 ロバダン!マップ

「ロバダン! (炉端談義)」の開催状況(平成31年4月〜令和2年3月)が一目でわかるマップ。令和元年度はFM事業&阿賀野川エコミュージアムを合わせて、44件開催しました。

… 〇で開催したロバダン!
… 〇で開催したロバダン!

平成31年度ユネスコ活動費補助金(文部科学省所管)
新潟市教育委員会
新潟市保健衛生総務課
(一社)あがのがわ環境学舎
日本自然環境専門学校
阿賀町役場
阿賀町教育委員会
昭和電工株式会社



新潟水俣病の学習用教材が完成!



新しい学習用教材が完成!

昨年度制作した「紙芝居教材『阿賀の近代産業ものがたり』副読本」に続き、「新潟水俣病の被害原因その後を知ろう」が、新潟市などが中心となって作成し、ようやく完成しました!

新潟水俣病を含む四大公害は、小学5年社会の教科書で学びますが新潟県以外の地域の公害事例が扱われています。この教材は、小学5年社会の教科書の時間に、新潟水俣病を学べるように制作されました。

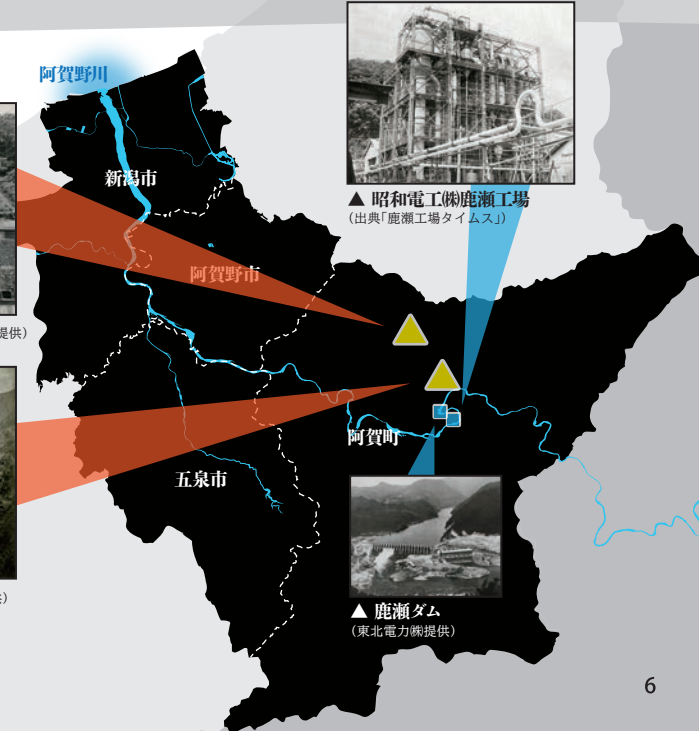


11/17(日) 三川鉱山&草倉銅山めぐり 当日35名参加 開催レポート!

阿賀流域の近代産業の事例を視察するため、三川鉱山&草倉銅山の現地視察を開催しました! 特に三川鉱山の現地視察は珍しく、当日は三川鉱山に詳しい地元有識者の吉澤荘一さんからガイドしていただきました!



(片桐淳氏撮影)



▲ 三川鉱山の選鉱場 (吉澤荘一氏提供)



▲ 草倉銅山の本山 (小野崎敬氏提供)



▲ 昭和電工(株)鹿瀬工場 (出典「鹿瀬工場タイムス」)



▲ 鹿瀬ダム (東北電力提供)